

# 2013年度 連結決算概要

## 2013年度 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	2013.3 実績 [A]	2014.3 実績 [B]	増減 [B-A]	% [B/A]
<b>営業収益</b>	<b>1,892</b>	<b>1,994</b>	<b>102</b>	<b>105.4%</b>
空港運営事業	1,074	1,068	▲5	99.4%
リテール事業	486	585	98	120.3%
施設貸付事業	301	310	8	103.0%
鉄 道 事 業	28	29	0	103.1%
<b>営業利益</b>	<b>347</b>	<b>398</b>	<b>50</b>	<b>114.6%</b>
空港運営事業	78	79	0	100.7%
リテール事業	137	177	39	129.0%
施設貸付事業	127	137	9	107.4%
鉄 道 事 業	4	4	0	112.5%
<b>経常利益</b>	<b>275</b>	<b>333</b>	<b>57</b>	<b>120.9%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>153</b>	<b>199</b>	<b>46</b>	<b>130.1%</b>

## セグメント別損益の状況①



## 空港運営事業

(単位：億円)

	2013.3 実績 [A]	2014.3 実績 [B]	増減 [B-A]	% [B/A]
<b>営業収益</b> (外部顧客に対する売上高)	<b>1,074</b>	<b>1,068</b>	<b>▲5</b>	<b>99.4%</b>
空港使用料収入	448	427	▲21	95.3%
旅客施設使用料収入	325	337	12	103.8%
給油施設使用料収入	163	168	4	103.0%
その他収入	137	135	▲1	98.6%
<b>営業利益</b>	<b>78</b>	<b>79</b>	<b>0</b>	<b>100.7%</b>
(営業利益率)	6.9%	7.0%	0.1%	

当期の空港運営事業は、国際線着陸料を引き下げたものの、航空取扱量が増加したこと等により、ほぼ前期並みの決算に

## セグメント別損益の状況②



## リテール事業

(単位：億円)

	2013.3 実績 [A]	2014.3 実績 [B]	増減 [B-A]	% [B/A]
<b>営業収益</b> (外部顧客に対する売上高)	<b>486</b>	<b>585</b>	<b>98</b>	<b>120.3%</b>
物販・飲食収入	329	419	90	127.6%
構内営業料収入	81	93	11	114.0%
その他収入	76	72	▲3	95.6%
<b>営業利益</b>	<b>137</b>	<b>177</b>	<b>39</b>	<b>129.0%</b>
(営業利益率)	28.0%	30.0%	2.0%	

当期のリテール事業は、国際線外国人旅客及び国内線旅客の増加や円安等に伴い、直営店舗、テナント店舗とも売上が増加し、増収増益の決算に

## セグメント別損益の状況③



## 施設貸付事業

(単位：億円)

	2013.3 実績 [A]	2014.3 実績 [B]	増減 [B-A]	% [B/A]
営業収益 (外部顧客に対する売上高)	301	310	8	103.0%
営業利益	127	137	9	107.4%
(営業利益率)	39.8%	41.8%	2.0%	

当期の施設貸付事業は、航空旅客数の増加に伴う駐車場使用料収入の増加や建物貸付料の割引措置の解消等により増収増益の決算に



## 鉄道事業

(単位：億円)

	2013.3 実績 [A]	2014.3 実績 [B]	増減 [B-A]	% [B/A]
営業収益 (外部顧客に対する売上高)	28	29	0	103.1%
営業利益	4	4	0	112.5%
(営業利益率)	13.7%	15.3%	1.6%	

当期の鉄道事業は、成田スカイアクセスの線路使用料収入の増加等により増収増益の決算に

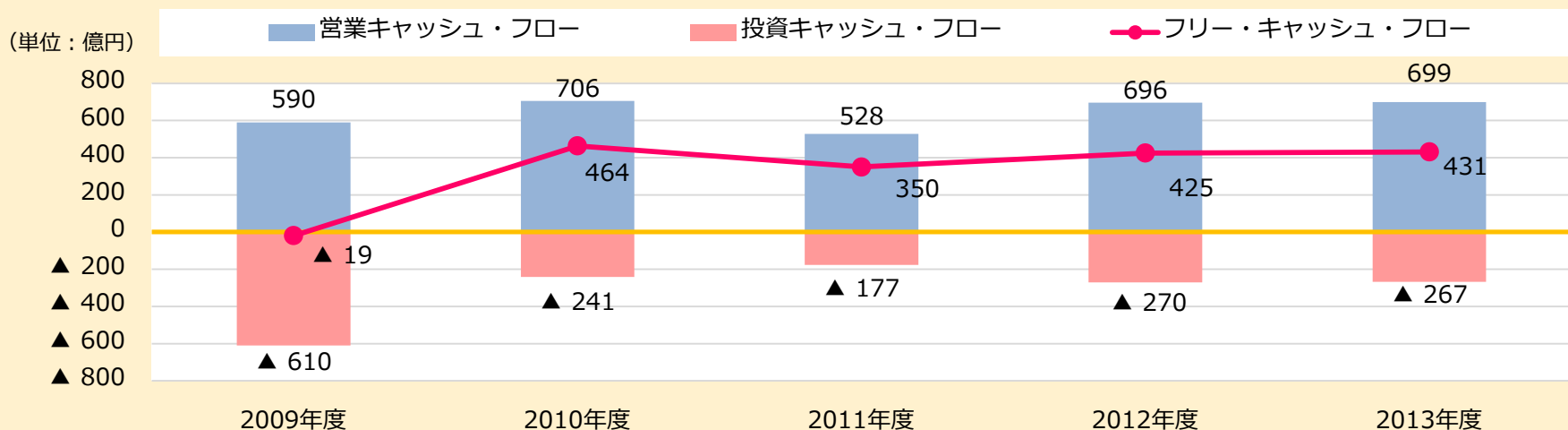
# 連結キャッシュ・フローの概要

(単位：億円)

	2013.3 実績 [A]	2014.3 実績 [B]	増減 [B-A]
営業キャッシュ・フロー	696	699	3
投資キャッシュ・フロー	▲270	▲267	2
フリー・キャッシュ・フロー	425	431	5
財務キャッシュ・フロー	▲405	▲447	▲42
現金及び現金同等物の期末残高	303	288	▲15

※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

## 連結キャッシュ・フローの推移



財務体質強化に向け、引き続きキャッシュ・フロー経営を積極的に推進